

# 茨城新聞 デジタル 入稿ガイド

茨城新聞社営業局広告編集部 (2015年1月20日作成)  
〒310-8686 茨城県水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル  
TEL029-239-3011 FAX029-301-0361  
E-mail:design@ibaraki-np.co.jp

茨城新聞では、新聞共有化システムの導入にあたりDTP環境をすべてWINDOWSに一新致しました。

### ■フォーマット (図1)

- Adobe Illustratorで作成されたEPSデータ。PostScriptレベル3で保存。
- ※Macintosh版、Windows版どちらでも入稿可能。
- ※PDFの入稿には対応していません。

### ■使用システム (図2)

- Windows7、MacOSX
- アプリケーションのバージョンに合わせた推奨環境。
- ※MacOS9をお使いの場合はご相談ください。

### ■フォント (図3)

- Windows環境ではCIDフォントは使えませんので確実にアウトラインを取って下さい。
- OPEN TYPE FONT(True Type Font)でも基本はアウトラインをお願いします。

### ■使用アプリケーション



Adobe Photoshop

※ CS2 ~ CS6 を推奨



Adobe Illustrator

※ CS2 ~ CS6 を推奨



Adobe In Design

※現在非対応

- ※Adobe InDesignの入稿には対応していません。
- ※Photoshop、IllustratorでCS以前のバージョンをお使いの場合はご相談ください。

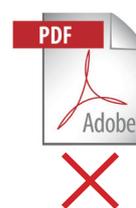
### ■ウイルスチェック

- ウイルスチェックは必ず行ってください。制作環境がWindowsの為、MacOSでは感染しない場合でもWindowsでは感染する可能性があります。

### ■データ量

- 原稿のデータ量は500MB以下にしてください。

(図1)



(図2)



(図3)



フォントはすべてアウトライン

## ■入稿締切日

- 掲載日の**3日前の午前中**。(土・日・祝日を除く)

## ■入稿データ

- Illustrator EPS形式の1ファイルのみ。

## ■ファイル名 (図 4)

- 入稿データには、半角数字4桁で掲載日、アンダーバー、クライアント名の順で名前をつけてください。

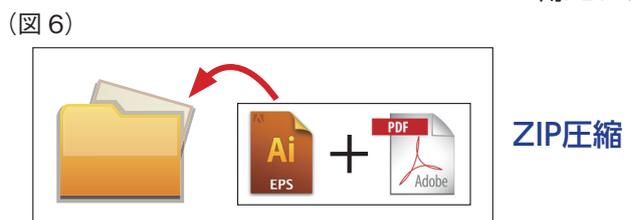


## ■入稿方法 (図 5) (図 6)

- 郵送の場合：CD-R/CD-RW、DVD-R/DVD-RW、USBメモリ。出力見本を2枚添付。

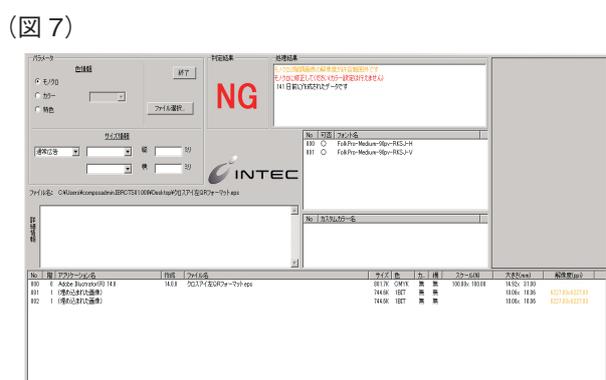
※MO / ZIPの入稿には対応していません。

- メール入稿の場合：ZIP圧縮したデータ量が10MB以下ならば、直接添付可能。10MBを超える場合、「宅ふぁいる便」や「データ便」などを利用して送信。確認用PDFも同送してください。



## ■PS(ポストスクリプト)チェッカー (図 7)

- 入稿されたEPSデータはPSチェッカーで不備がないか検査を行い、正しいデータかを確認します。入稿前に写真解像度、スポットカラー、フォント、サイズ等の問題点を事前にチェック願います。次ページ〈データ作成の注意点〉〈画像について〉〈Photoshop設定〉を参考に作成してください。指定以外のものは、全て認証されませんので、ご注意ください。(図7)のように入稿規定以外の素材だとNGがでしまうので、正しいデータをお願いいたします。



## ■カラーユニバーサルデザイン (CUD)

- 茨城新聞社では色弱の方にも見やすい紙面を展開しています。つきましては広告制作の折にも、CUDに配慮した色使いにしていただければ幸いです。CUDの詳細についてはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構のホームページ (<http://www.cudo.jp/summary>) をご参照ください。

# データ作成の注意点



Illustrator

●入稿サイズについては（表1）を参照してください。

## ■フォントのアウトライン

●フォントはすべてアウトライン化してください。  
フォントデータを含む孤立点などは全て削除してください。

## ■画像の埋め込み

●配置画像はすべて埋め込んでください。  
※配置できる画像は、Photoshopで制作したEPS（カラー、グレースケール、モノクロ2階調）、PSD（カラー、グレースケール）、TIFF（モノクロ2階調）です。  
Jpeg画像は絶対に配置しないでください。

## ■配置画像の大きさ

●書類に配置する画像は、書類上で拡大縮小せずにPhotoshopで使用する大きさに変更し、配置してください。

## ■広告罫（図8）

●広告罫は中央揃えではなく、内側に揃えてください。  
中央揃えにすると線幅分だけ大きくなります。

## ■広告罫がない場合

●広告罫がない原稿の場合、周りを広告サイズの透明の枠で囲んでください。

## ■オーバープリント

●原稿にオーバープリントが設定してある場合、正確に印刷できないことがあります。「属性」パレットからオーバープリントを破棄してください。

## ■レイヤー

●最終的にレイヤーはひとつにまとめてください。

## ■オブジェクトのロックとグループ化

●オブジェクトにかけてあるロックとグループは、すべて外してください。

## ■レイヤークリッピングマスク

●最終的に広告サイズで原稿にレイヤークリッピングマスクをかけてください。

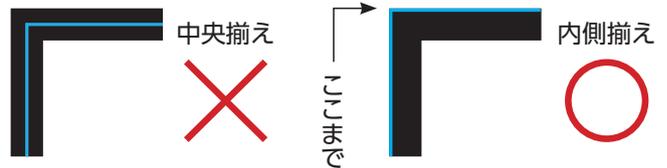
（表1） ■茨城新聞入稿サイズ

段数	天地(mm)	区分	左右(mm)
1段	32	2頁通し	783
2段	66	1段全幅	376
3段	100	1/2	186
4段	134	1/3	123
5段	168	1/4	91
6段	202	1/5	72
7段	237	1/6	60
8段	271	1/7	51
9段	306	1/8	45
10段	340	1/10	35
11段	374		
12段	409		
13段	443		
14段	477		
15段	511		

1頁社罫なし寸法（三方罫トル）  
天地 512mm 左右 382mm  
※上にノンブル罫が入ります。

完全見開き社罫なし寸法  
（三方罫トル）  
天地 512mm 左右 789mm  
※上にノンブル罫が入ります。

（図8）



# 画像について



Photoshop

## ■画像補正について

- 色補正は原則RGBモードで行ってください。一旦CMYKやグレースケールに変換してしまうと色域が狭くなり適切な色補正が出来なくなってしまうためです。

※CMYKやグレースケール変換後の色の確認は「表示」から「色の校正」を選択することで確認できます。

## ■トリミング・画像解像度の設定 (図 9)

- レイアウトに合わせてトリミングを行い、解像度は掲載サイズで300ppi前後になるよう設定してください。二値画像は1200dpiとします。

## ■階調補正 (図 10)

- 「レベル補正」や「トーンカーブ」で明るさやコントラストを調整してください。

## ■色調補正 (図 11)

- 「カラーバランス」、「レンズフィルター」、「色相・彩度」などで色かぶりや特定色を補正してください。

## ■アンシャープマスク

- 広告罫がない原稿の場合、周りを広告サイズの透明の枠で囲ってください。

## ■配置画像

- 配置画像フォーマットはEPS、TIFF、PSD形式。レイヤーはすべて統合してください。
- CMYK、グレースケールは、8bitを使用します。
- ICCプロファイルの埋め込みはしない。ハーフトーンスクリーンの設定は行いません。

(図 9)

### 画像解像度設定

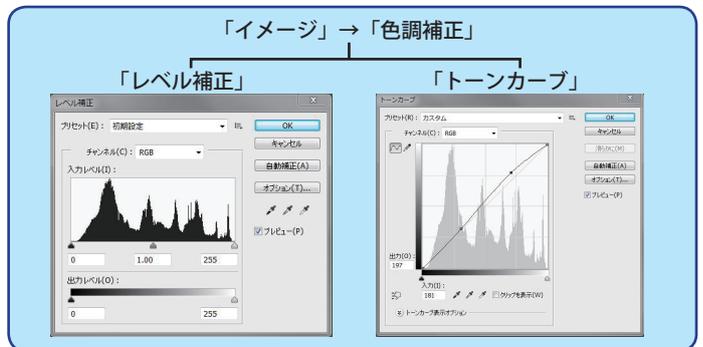


トリミング例

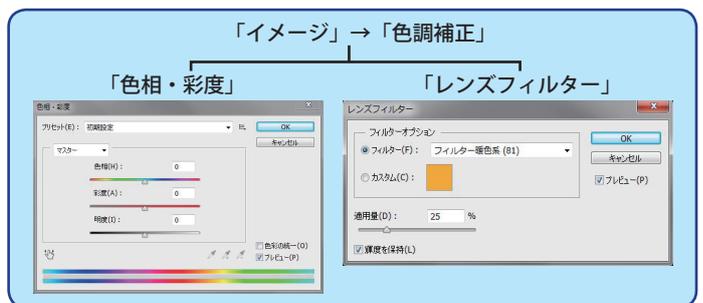


イラストレータの画面上で拡大・縮小すると画像解像度が変わってしまいPSチェッカーでエラーが出る場合があります。必ずPHOTOSHOP上で適切なサイズに調整してください。

(図 10)



(図 11)





## ■ UCR の設定および総インク量の確認

- 新聞広告のデータ作成では、UCR設定や総インク量が重要な項目です。規定値を上回るデータは、インキの転写不良や対向面、他の広告・余白等を汚すなどの影響があります。素材をCMYK モードに変更する際のUCR設定や原稿作成時の総インク量をご確認ください。

## ■ UCR の設定について (図12) (図13)

- 新聞印刷は、高速オフセット輪転機で印刷しているためインキの粘度は低く印刷用紙もインキを吸いやすいものを使用しています。このため一般の商業印刷に比べ総インク量を低く設定する必要があります。
- Adobe PhotoshopCS2以降をお使いの場合はCMYKプロファイル変換でカラー設定をJapancolor2002 Newspaperに設定してください。設定方法は「編集」→「カラー設定」→「作業スペース」→「CMYK」のプルダウン項目から「Japancolor2002 Newspaper」を「グレー」の項目から「Dot Gain 25%」を選択= (図12)。「Japancolor2002 Newspaper」のUCRは240%です。

※旧バージョンのPSをお使いの場合は下右図を参照。「編集」→「カラー設定」→「作業スペース」→「CMYK」欄で「カスタムCMYK」と選択 (図13)。インキの色特性はSWOP (新聞紙)、色分解の種類はUCR、黒インキの制限は95%、インキの総使用量の制限を240%にしてください。

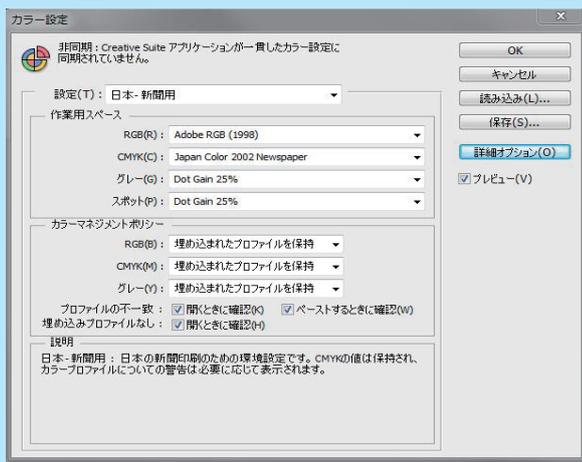
※なお旧バージョン用「Japancolor2002 Newspaper」のICCプロファイルは、Adobe 社のホームページよりダウンロードできます。(http://www.adobe.com/jp/support/downloads/1331.html)

ファイルのダウンロードおよび設定については、各制作会社の責任において行ってください。

(図 12)

入稿データに含まれる写真データのUCRは次のように設定してください。

(図 13)



## ■ スクリーン線数・角度・出力解像度

	モノクロ	カラー
スクリーン線数	105 線	120 線
スクリーン角度	B45°	C15° M45° Y0° K75°
出力解像度	1200dpi	

※スクリーン線数および出力解像度は、茨城新聞のシステム上での数値です。制作段階で設定をしていただく必要はありません。

※紙面で再現できる最小網点は 2%です。これ以下の網は紙面では再現されません。罫線は 0.3pt以上を推奨します。